

2024 年度アニメ・アーカイブ研究チーム活動報告

ラサール芸術大学(シンガポール)との研究会を、シンガポールと新潟において計 2 回開催いたしました。ラサール芸術大学とアジア連携研究センターは、2023 年度に研究交流協定を締結し、以降活発な研究活動を展開しています。

MAKING ANIME: In Between Art & Cinema Symposium

2024 年 9 月 12 日から 14 日にラサール芸術大学で開催されたこのシンポジウムには、東南アジア各国(シンガポール、マレーシア、フィリピン、ベトナム、インドネシア)、ヨーロッパ(イギリス、スウェーデン)、そして日本のアニメ研究者が集い、それぞれの研究関心を共有し、討議を展開しました。東南アジアで活躍するマンガ家、アニメ制作者たちのワークショップも開催され、アニメとマンガという日本発のスタイルが東南アジアに生きるクリエイターにとって自らの表現の拠り所になっていることが語られました。また、シンガポールのアニメ、さらには日本文化を研究する大学院生たちの発表は、日本文化に対する現在の学術的関心がどこにあるのかを示しており、そのレベルの高さとともに非常に興味深いものでした。



アニメーション研究の最前線

2025年3月19日に、シンポジウム「アニメーション研究の最前線」を、第3回新潟国際アニメーション映画祭のフォーラム企画として開催いたしました。ラサール芸術大学から Gan Sheuo Hui 先生、専修大学の米村みゆき先生、そして新潟大学の石田が、歴史、技術、翻案、声の観点から、アニメのメディア的独自性について議論しました。

